

# 光産業技術マンスリーセミナー

光協会では、光産業・技術の普及事業の一環としてマンスリーセミナーを毎月第3火曜日(原則)に開催しております。このセミナーは、光産業技術に関連する幅広い専門家を講師に迎えて、内外のトピックスや最新の情報をわかりやすく解説していただくものです。

494 回	7/16 (火)	高次機能超短パルスファイバレーザ 光源の開発と応用展開	名古屋大学 大学院工学研究科 電子工学専攻 量子光エレクトロニクス研究グループ 教授	西澤 典彦 氏	<p>(内容) 超短パルスファイバレーザは小型・安定で電源さえあればどこでも使用できる実用性に優れた超短パルスレーザ光源である。その安定性や実用性の高さから、光周波数コム的主要な光源の役割を担い、またバイオメディカル等への応用も進められている。また、最近では波長帯域の広帯域化の取り組みも進められている。本講演では、筆者が取り組んでいる高機能な超短パルスファイバレーザ光源について、その基礎から最近の研究状況までを筆者の研究を中心に講演する。また、高機能超短パルスファイバレーザのバイオイメージングや光周波数コムなどへの応用展開についても紹介する。</p> <p><a href="#">受講申込</a></p> 
495 回	8/20 (火)	機器を配線から解放する 光無線給電システム	東京工業大学 科学技術創成研究院 未来産業技術研究所 准教授	宮本 智之 氏	<p>(内容) 無線給電は、配線不要かつバッテリーの大幅削減などさまざまな利点・利便性があり、新たな機器や応用などの創出の基盤となる。光ビームを伝搬して受光素子で発電する光無線給電は、既存無線給電に対して、kmクラスまでの長距離、光源出力に応じたkWクラスまでの給電、さらに電磁ノイズ干渉がない特徴を持つ。このため多くの機器を配線から解放する仕組みと期待できる。この光無線給電のコンセプトは1970年前後の提案であるが、活発な検討が始まったのは最近である。本講演では、著者らが進めている取組を中心に、屋内から屋外向けまでのIoT端末向けから地上、空中、水中などの移動体などへの適用可能性や将来の展望を解説する。</p> <p><a href="#">受講申込</a></p> 
496 回	9/3 (火)	シリコンによるフォトニクスのパラダイムシフト	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 プラットフォームフォトニクス研究センター 総括研究主幹	山田 浩治 氏	<p>(内容) 桁違いの量的変革は質的変革を誘起しパラダイムシフトをもたらすと言われている。量的変革の観点ではフォトニクスはシリコンの適用により劇的に進化したが、現状ではトランシーバの大容量化に寄与したにすぎない。エレクトロニクスで言えばトランジスタラジオのレベルである。エレクトロニクスはその後、デジタル技術の助けを得て質的に変革し、コンピュータを生み出したが、フォトニクスはまだその段階に至っていない。そこで本稿では、シリコンフォトニクスのポテンシャルと限界を認識しつつ、フォトニクスの質的変革に向けた当該技術の活用法を検討する。キーワードは、更なる量的変革、柔軟性、およびインテリジェントアーキテクチャである。</p> <p><a href="#">受講申込</a></p> 

## 光産業技術マンスリーセミナー 参加要領

参加料：銀行振込でお支払い下さい。(消費税込み)  
 光協会賛助会員：1,500円  
 一般：3,000円  
 大学・公的機関：無料(学生・院生含む)

会場：オンライン開催  
 定員：90名(定員になり次第締め切らせていただきます。)  
 時間：15:30~17:30

お申込み：各回次毎の二次元バーコードからお申し込みください。詳細は下記HPをご参照ください。

マンスリーセミナーHP <http://www.oitda.or.jp/main/monthly-j.html>

事務局：マンスリーセミナー担当 武富・瀬戸山 Email: mly@oitda.or.jp TEL: 03-5225-6431

